

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
①農業研究部 (計70件)						
0549	農業研究部	<p>【来年用のカンショのウイルスフリー苗を増やしています！】(2020.3.11発信)</p> <p>来年用のウイルスフリー苗確保のための増殖を開始しています。試験管で育てた苗を節ごとに切断し新しい試験管内に移植することで約5倍に増やします。この作業を繰り返し行い試験に必要な苗を準備しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.4.10
0543	農業研究部	<p>【カンショのウイルスフリー苗を増やしています！(その4)】(2020.2.25発信)</p> <p>農業研究部では、高糖度カンショの生産安定技術に関する試験を行っています。先月ポットに植え付けて15cm程度に成長させたウイルスフリー苗を一節ごとに切り分けてセルトレイに挿しています。これをガラス室内で育苗し親株にします。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.3.25
0538	農業研究部	<p>【転炉スラグによる土壌酸度改良対策研修会を開催しました】(2020.2.7発信)</p> <p>転炉スラグは土づくりには有用な資材ですが、散布労力が大きい点が課題でした。散布時間を10aあたり1時間程度に短縮可能な方法を開発したので、生産者への技術紹介と普及を目的に、現地で研修会を行いました。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.3.13
0537	農業研究部	<p>【土壌水分センサーを利用した小ネギの栽培が始まりました】(2020.2.7発信)</p> <p>小ネギ栽培に最適な土壌水分率を把握することを目的として、クラウド型土壌水分センサーを用い、かん水量に差を付けて土壌水分率の変化を調査する試験を開始しました。今後は生育調査や収量調査を行う予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.3.13
0536	農業研究部	<p>【カンショのウイルスフリー苗を増やしています！(その3)】(2020.2.3発信)</p> <p>農業研究部では、高糖度カンショの生産安定技術に関する試験を行っています。試験管で培養したウイルスフリー苗をポットに植え付けています。今後2ヶ月程度ガラス温室内で育てて親株にします。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.3.13
0535	農業研究部	<p>【カンショのウイルスフリー苗を増やしています！(その2)】(2020.2.3発信)</p> <p>高糖度カンショの苗は通常は種芋から取りますが、農業研究部ではウイルス感染していない株を作る研究をしています。試験管で培養後、大きくなった株を取り出しているところですが、この後ハウスに移し株を養成します。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.3.13
0534	農業研究部	<p>【ベルトプランター栽培の収穫作業を楽にする機械を試作！】(2020.2.3発信)</p> <p>県が独自開発したベルトプランター栽培技術で栽培したミニチンゲンサイの収穫労力を軽減するための索引機を試作しました。チンゲンサイが自動的に手前に運ばれ、作業者は座ったまま収穫できます。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.3.13
0525	農業研究部	<p>【ベルトプランターに小ネギを移植しました！】(2020.1.24発信)</p> <p>チェーンポットに播種し、約50日育苗したネギ苗をベルトプランター(県独自開発技術)に移植しました。その後約40日間ハウス内で管理し小ネギとして収穫します。収量性や葉先枯れ程度について調査予定です。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.3.6
0524	農業研究部	<p>【白ネギの夏越し作型向けの新品種を調査しました。】(2020.1.24発信)</p> <p>猛暑や大雨により夏越し作型の白ネギ栽培が難しい状況に対応するため、大苗を使用した試験を行っています。新しい品種についても生育や収量を調査して、大分県での夏越し作型に適しているかどうかを判断します。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.2.28

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0523	農業研究部	<p>【ピーマンの播種を行いました】 (2020.1.24 配信)</p> <p>ピーマンの種(写真下)をセルトレイに播種しました。今後鉢上げ、育苗を行い、3月中下旬に定植します。2020年度の夏秋ピーマンの試験では、ヤシガラ培地栽培の技術確立、適応品種選定等に取り組む予定です。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.2.14
0514	農業研究部	<p>【県内全域を対象として水田の地力窒素含量を測定しました】(2020.1.10発信)</p> <p>大分県では、麦大豆の収量低下が問題となっています。そこで収量に影響を与える地力窒素を県内全域で計225地点測定しました。調査したデータは、水稲施肥基準の見直しに活用していきます。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2020.2.7
0513	農業研究部	<p>【貯蔵中のカンショ調査をしています】 (2020.1.10発信)</p> <p>昨年秋に収穫したカンショは4月頃まで貯蔵庫で管理します。貯蔵に問題がないか、品質(腐敗の有無など)を定期的に調査しています。写真は貯蔵中のカンショを切り離し、確認しているところです。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.1.31
0512	農業研究部	<p>【イチゴ新品種育成に向けて、有望な個体の選抜を行っています】(2020.1.10発信)</p> <p>9月に定植した2,500個体から、有望な個体を選抜しています。味、形、色、収穫時期の早さを基準にしています。選抜した個体は次年度以降、より詳しく調査しさらに厳しく選抜していきます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.2.3
0511	農業研究部	<p>【「ベリーツ」の果実の形が乱れる原因を調査しています(その2)】(2020.1.10発信)</p> <p>イチゴ「ベリーツ」果実の形が乱れる原因を探るため、花粉の調査を行いました。今回はめしべの働きに問題がないかを調べるため、咲いた花のおしべをすべて取り除き、別に用意した花粉を使って人工授粉しました。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.1.31
0510	農業研究部	<p>【ベルトプランター栽培したミニチンゲンサイを収穫しました!】(2020.1.10発信)</p> <p>県で独自開発したベルトプランター栽培技術(詳しくは農業研究部ホームページ参照)を使用したミニチンゲンサイの試験栽培を行っています。11月中旬に移植し、40日かけて25g程度に生育した株を収穫しました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.1.31
0506	農業研究部	<p>【冬ニラの1回目収穫をしました!】 (2019.12.24発信)</p> <p>農業研究部では冬ニラにおける炭酸ガス施用の効果を確認するための試験を行っています。7月に定植した株は収穫適期を迎えたため、1回目の収穫調査を行いました。生育は順調で、あと3~4回収穫を行う予定です。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.1.31
0505	農業研究部	<p>【夏越し作型の白ネギを12月に収穫しました!】 (2019.12.23発信)</p> <p>農業研究部で開発した白ネギの大苗技術を用いて7月に定植する夏越し作型の試験を行っています。今年は天候が概ね良好でネギも順調に育ちました。12月収穫のネギは収量・品質ともに目標を達成する見込みです。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2020.1.31
0504	農業研究部	<p>【「ベリーツ」の果形が乱れる原因を調査しています】 (2019.12.27発信)</p> <p>イチゴ「ベリーツ」は色が濃く糖度が高いものの、時期によっては果実の形が乱れることがあります。その原因を探るため、花粉(写真下)を採取し培養を行うことで、花粉の働きに異常がないか調べています。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2020.1.31

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0492	農業研究部	<p>【高精度カンショの調整作業を行っています！】 (2019.12.2発信)</p> <p>高精度カンショ収穫時のヤラピン(カンショに含まれる成分の一種)による汚れ軽減について試験を行っています。現在、収穫後に貯蔵したカンショを現場と同様の工程で洗浄し、調査を行っています。 今年のカンショは汚れや皮むけが少なく良品です。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.12.27
0491	農業研究部	<p>【冬ニラ栽培で炭酸ガスの使用を開始しました】 (2019.12.02発信)</p> <p>炭酸ガスを効果的に施して冬ニラの収量と品質を向上させる研究を行っています。今年度はトンネルを用いた3重被覆や地中加温効果を明らかにする試験を行っており、12月下旬から1回目の収穫を予定しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.12.27
0490	農業研究部	<p>【夏越し作型の白ネギ収穫が始まりました！】 (2019.11.21発信)</p> <p>白ネギの夏越し作型の試験を行っています。農業研究部で開発した大苗技術を用いて7月に定植し暑い夏を越させ11月～12月の需要期に収穫するものです。今回の収穫では収量・品質とも概ね目標を達成できました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.12.27
0480	農業研究部	<p>【地球温暖化の抑制へ、農地中の温室効果ガス量を調べています】 (2019.11.11発信)</p> <p>国の委託を受け、県内46地点で農地に蓄積している炭素・窒素量を長期的に調査し、地球温暖化防止に役立つ調べています。農地中に多くの炭素を蓄えられると大気中の温室効果ガス濃度は低くなります。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.12.6
0477	農業研究部	<p>【イチゴ「ベリーツ」の形質改善に取り組みます】 (2019.11.11発信)</p> <p>ベリーツの形質改善を図るため、実験室内で成長点を切り取り(写真)培養してきた株にイオンビームを照射して、変異を起こした株から形質の優れた個体を選抜します。照射は国の施設で行います。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.12.6
0476	農業研究部	<p>【冬ニラの株養成後の状態を調査しています！】 (2019.11.11発信)</p> <p>冬ニラの株養成が終わり、試験区ごとに本数や重量について調査しました。今年は植え付け本数や深さを変えて栽培する他に炭酸ガス施用の効果を高めるための加温方法についても試験していきます。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.12.6
0475	農業研究部	<p>【冬ニラの株養成が終わりました】 (2019.11.08発信)</p> <p>7月上旬に定植したニラは、地下部を充実させるためこれまで株養成を行いました。今後は、現在の葉をいったん刈り捨て(写真)、これから新しく発生する葉を収穫します。12月～翌年6月までに5回程収穫する予定です。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.12.6
0479	農業研究部	<p>【カンショを用いた肥料試験の収穫調査を行いました】 (2019.11.13発信)</p> <p>混合堆肥複合肥料(堆肥入りの複合肥料)を使ったカンショ栽培試験の収穫調査を行いました。慣行区と収量を比較し、その結果を基にカンショの施肥基準の検討や混合堆肥複合肥料の改良を目指します。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.12.6
0478	農業研究部	<p>【水田さといもを掘り取り調査しています！】 (2019.11.12発信)</p> <p>水田さといもの栽培試験をしています。今年は定植から収穫まで全期間マルチをずらす作型を基本として、マルチの種類や肥料の量を変える試験をしています。概ね順調に生育しています。掘り取り後に重さを調査します。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.12.6

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0470	農業研究部	<p>【病害虫の発生状況調査を行っています】 (2019. 11. 19発信)</p> <p>当チームでは毎月中下旬に県内全域の病害虫発生状況を調査しています。今月の調査対象作物はイチゴ・白ネギ・トマトです。調査結果から来月の病害虫発生状況を予測し、「病害虫発生予察予報」で情報提供を行います。</p>		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2019.12.19
0469	農業研究部	<p>【茶園の秋整枝をしています！】 (2019. 11. 08発信)</p> <p>秋整枝とは茶樹の摘採面を揃える管理作業で、翌年の一番茶摘採時の古葉混入を防ぐと同時に、芽数を調整するために行います。芽数は翌年の一番茶の収量に関係するので茶園を観察し最適になるように作業しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.11.29
0463	農業研究部	<p>【収穫したカンショの調査をしています！】 (2019. 10. 21発信)</p> <p>カンショの品種試験で、試験区ごとに10株ずつ手作業で掘り取りを行っています。収穫後の調査では1株ごとに分け、それぞれに1~5個程度着いているイモ1個ずつの重さや外観を調べています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.11.8
0462	農業研究部	<p>【カンショの品種試験区の収穫をしています！】 (2019. 10. 21発信)</p> <p>独立行政法人等が育成した高精度カンショの新しい系統・品種が本県に適合しているか、収量・形状・食味等を調査しています。種類が多いので、試験区ごとに10株づつを手作業で掘り取っています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.11.8
0461	農業研究部	<p>【ベルトプランターで栽培したミニチンゲンサイの調査をしました！】 (2019. 10. 18発信)</p> <p>県で独自開発したベルトプランター栽培技術（詳しくは農業研究部ホームページ「白ネギの新方式大苗育苗技術」を参照 (https://www.pref.oita.jp/soshiki/15083/sironegi-ikubyou.html) を活かして、葉菜類の試験栽培を行っています。今回はミニチンゲンサイの栽培を行い、播種39日後に25g程度に生育した株の収穫と品質調査を行いました。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.11.8
0455	農業研究部	<p>【堆肥入り肥料を使った稲の成熟期調査を行いました】 (2019. 10. 11発信)</p> <p>10月7日に混合堆肥複合肥料（鶏ふん堆肥原料）を用いた水稲栽培試験の成熟期調査を行いました。草丈や穂数を計測した後に調査用の稲を刈り取りました。この稲は、別室で乾燥後、収量調査に用いる予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.11.8
0454	農業研究部	<p>【イチゴ新品種育成に向けて、定植を行いました】 (2019. 10. 11発信)</p> <p>イチゴ品種育成に向け、約90交配組合せから種を採取、播種後、苗養成を行ってきました。育成した苗約2,500個体を9月25日に定植しました。食味や外観などの形質を評価し、より優れた個体を選抜していきます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.10.25
0453	農業研究部	<p>【「ペリーツ」の定植を行いました】 (2019. 10. 1発信)</p> <p>9月18日から9月25日にイチゴ「大分6号（ペリーツ）」の定植を行いました。今作は、「ペリーツ」における環境制御や摘果による品質向上対策等に取り組んでおり、来年春まで調査を続けていきます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.10.25

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0443	農業研究部	<p>【高糖度カンショの収穫を開始しました！】 (2019.10.2発信)</p> <p>農業研究部では高糖度カンショの採苗方法や収穫時のヤラピンによる汚れ軽減について試験を行っています。慣行区として5月下旬に挿苗したカンショを収穫しました。大きさも形も良好に育っています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.11.8
0442	農業研究部	<p>【白ネギ夏越し作型の試験で土寄せを行いました】 (2019.9.24発信)</p> <p>農業研究部で開発した大苗育苗技術を用い、7月に定植した白ネギの夏越し作型の試験を行っています。夏の暑さを乗り越えて順調に生育しています。2回目の土寄せ作業を行いました。あと3回土寄せをして収穫します。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.10.25
0434	農業研究部	<p>【土壌炭素貯留等基礎調査のため場内にハクサイを定植しました】 (2019.9.25発信)</p> <p>農業研究部では国の委託を受け、地球温暖化防止と土壌肥沃度の変化を把握するため、農地に蓄積している炭素・窒素の量とその変化を調査しています。調査の基準点として場内圃場にハクサイを定植しました。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.10.18
0433	農業研究部	<p>【コマツナを用いた肥料試験の2作目が始まりました】 (2019.9.25発信)</p> <p>堆肥入り複合肥料を使ったコマツナの2回目の栽培試験を始めました。写真は最初の間引きを行ったところです。今後も調査を継続し、コマツナの施肥基準確立や、肥料試作品の更なる改良を目指します。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.10.18
0427	農業研究部	<p>【小ネギの肥料試験の栽培が始まりました】 (2019.9.18発信)</p> <p>小ネギ栽培では播種直後の多量かん水により、肥料の効果が低下するため、肥効の異なる肥料を用い、適切な施肥量を把握するための試験を開始しました。今後は生育調査や収量調査を行う予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.10.18
0426	農業研究部	<p>【土壌水分センサーを利用した小ネギの栽培が始まりました】 (2019.9.18発信)</p> <p>小ネギ栽培ではかん水管理が特に重要な技術です。最適な土壌水分率を把握することを目的として、クラウド型土壌水分センサーを用い、かん水量に差を付けて土壌水分率の変化を調査する試験を開始しました。今後は生育調査や収量調査を行う予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.10.18
0425	農業研究部	<p>【サイドかん水を組み合わせた小ネギの栽培試験が始まりました】 (2019.9.18発信)</p> <p>小ネギ栽培ではハウス側面が乾くことによる生育抑制が課題です。そこで、頭上かん水とサイドかん水を組合せ、圃場全体の水分状態を均一にする試験を開始しました。今後は生育調査や収量調査を行う予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.10.18
0424	農業研究部	<p>【初夏取り作型の白ネギの播種をしました！】 (2019.9.9発信)</p> <p>白ねぎの4~5月収穫の作型は抽だいが発生するため生産量が不安定です。そこで農業研究部で開発した大苗育苗技術で抽だい回避を目指します。今年は9月に播種し、大苗で育ててから定植時期の比較を行います。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.10.11
0423	農業研究部	<p>【大野町でドローンによる白ねぎの空撮を実施】 (2019年9月10日発信)</p> <p>大規模露地野菜における迅速な生育診断技術を開発するために、ドローン（マルチコプター）を活用して、大野町で白ねぎ圃場の撮影を実施しました。空撮画像を解析することで生育不良の早期発見が期待されます。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.9.30

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0414	農業研究部	<p>【茶の品種試験圃場で生育調査をしています】 (2019. 8. 28発信)</p> <p>国の品種育成機関では茶の品種を育成しています。その中から選抜された新しい品種を栽培して、地域に適しているか、また収量や品質はどうかという調査を各県が共同で行っています。現在6年目の生育状況を調査しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.9.30
0413	農業研究部	<p>【冬にらの定植50日後の生育は順調です】 (2019. 8. 27発信)</p> <p>7月上旬にビニールハウス内に定植しながら順調に生育しています。定植直後に比べて葉長と葉幅が1.5倍程度大きくなっています。今年は、炭酸ガス施用の効果を高めるため加温方法について試験します。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.9.30
0412	農業研究部	<p>【水田さといもが順調に生育しています！】 (2019. 8. 26発信)</p> <p>昨年まで水稲を栽培していた水田圃場をそのまま使用してさといもを栽培する試験をしています。今年は定植から収穫まで全期間マルチ作型で、マルチの種類や肥料の量を変えて試験しており、現在順調に生育しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.9.30
0411	農業研究部	<p>【夏越し作型の白ネギが順調に生育しています！】 (2019. 8. 26発信)</p> <p>11月～12月に収穫するための「夏越し作型」の試験をしています。農業研究部で開発した大苗技術を使い7月上旬に定植しました。今年の夏は大変暑くて白ねぎには厳しい生育環境ですが順調に生育しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.9.30
0405	農業研究部	<p>【次世代施設園芸団地の遮熱資材の持続性を調査】 (2019. 8. 23発信)</p> <p>九重の次世代施設園芸団地（パプリカ）では、夏の高温対策で遮熱資材「レディヒート」を天井に塗布しています。ハウス内の遮光率は約45%で、資材の効果が持続していることを確認しました。引き続き調査を継続します。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.9.6
0404	農業研究部	<p>【イチゴ優良種苗（ウイルスフリー苗）の増殖開始】 (2019. 8. 23発信)</p> <p>「ベリーツ（大分6号）」の優良種苗の増殖を開始しました。現地に供給するウイルスフリー苗の元となるため、隔離したハウスで管理しています。11月に増殖施設（九重町）に300株配布する予定です。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.9.6
0403	農業研究部	<p>【「ベリーツ（大分6号）」の研修会で栽培技術を紹介】 (2019. 8. 23発信)</p> <p>大分市内で行われた「令和元年度中部地区いちご研修会」において、「ベリーツ」の収量向上につながる試験状況（着果特性、着果位置による糖度の変化等）を紹介し、普及、定着をはかりました。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.9.6
0402	農業研究部	<p>【イチゴ新品種育成のため、鉢上げを行いました】 (2019. 8. 23発信)</p> <p>イチゴ品種育成に向け、6月に播種して発芽した約3,000個体を鉢上げしました。今後は苗養成を行い、9月下旬に定植、その後形質を評価し、より優れた個体を選抜していきます。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.9.6
0398	農業研究部	<p>【若手白ねぎ生産者の研修会が行われました】 (2019. 8. 9発信)</p> <p>大分白ねぎ連絡協議会「担い手部会」技術研修会及び豊後大野白ねぎ部会による視察（計30名）が農業研究部にて行われました。「薬剤耐性白絹病の発生及び対策」「大苗育苗技術の試験状況」の2課題について研究員が実演を交え説明を行いました。</p>		農業研究部 企画指導担当	0974-22-0671	2019.8.23
0397	農業研究部	<p>【コマツナを用いた肥料試験の収穫調査を行いました】 (2019. 8. 9発信)</p> <p>堆肥入り複合肥料を使ったコマツナの栽培試験で、収穫調査を行いました。株重・草丈・葉色などの調査結果を基に、コマツナの施肥基準確立や、肥料試作品の更なる改良を目指します。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.8.23

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0381	農業研究部	<p>【夏越し作型の白ネギを定植しています！】 (2019.7.17発信)</p> <p>白ネギの需要期である11月～12月に収穫する夏越し作型は、5月に定植するため夏の大雨や高温で生育が不安定です。開発中の大苗技術を使用して、7月に定植し12月に収穫する「新夏越し作型」の試験を行っています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.7.31
0380	農業研究部	<p>【冬ニラを定植しています！】 (2019.7.17発信)</p> <p>冬ニラは7月にビニールハウス内に定植し、12月～翌年6月まで収穫します。冬の収穫に向けて暑い夏の間には養分を蓄え、株を養成します。今年は植え付け本数や深さを変えて品質を向上させる試験を行います。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.7.31
0379	農業研究部	<p>【碾茶（てんちゃ）・有機栽培用茶園で病害虫の調査をしています】(2019.7.17発信)</p> <p>碾茶とは抹茶の材料にするお茶のことで、年々輸出が伸びています。海外では有機栽培の碾茶の需要が多いことから、当部では有機栽培碾茶の管理方法を研究しています。現在梅雨時期の病害虫発生状況の調査中です。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.7.31
0373	農業研究部	<p>【カンショのウイルスフリー苗を増やしています！】 (2019.7.4発信)</p> <p>普通のかんしょ栽培では貯蔵した芋を種芋にして苗を作ります。農業研究部では試験管でウイルスに感染していないフリー苗を作る研究をしています。この苗を基にして全生産者の苗を毎年更新しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.7.31
0372	農業研究部	<p>【初夏取り作型白ネギの収穫をしました！】 (2019.7.4発信)</p> <p>この時期に収穫する作型は抽だいの発生で品質が低下します。農業研究部では大苗を使用して抽だいを回避する研究をしています。収穫したネギは1本ごと調整し重さと品質を調査しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.7.31
0358	農業研究部	<p>【水稲で堆肥入り肥料の栽培試験を始めました】 (2019.6.19発信)</p> <p>原料に堆肥を用いた新規肥料「混合堆肥複合肥料」を使った水稲の栽培試験が始まりました。原料に堆肥が使われていることから、化成肥料単体よりも土づくり効果が高いとして注目されています。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.7.17
0357	農業研究部	<p>【堆肥入り肥料を使ったカンショの栽培が始まりました】 (2019.6.19発信)</p> <p>原料に堆肥を用いた新規肥料「混合堆肥複合肥料」を使ったカンショの栽培試験を開始しました。この肥料は一般的な有機配合肥料より安価で、堆肥の新たな活用方法を図る資源循環型肥料として期待されています。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.7.17
0356	農業研究部	<p>【イチゴ新品種育成のため、播種を行いました】 (2019.6.12発信)</p> <p>イチゴの新品種育成のため、本年は約90通りの交配組合せから採種し、約6,000粒を播きました。育苗後、9月に定植を行い、11月中旬頃から食味や外観などの評価（選抜）を行います。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.7.9
0355	農業研究部	<p>【初夏取り作型白ネギの生育調査をしています！】 (2019.6.6発信)</p> <p>この時期は抽だいの発生で生育が不安定になります。そこで農業研究部で研究している大苗を使用することで、抽だいを回避する技術を開発しています。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.7.16
0349	農業研究部	<p>【イチゴの果糖、ブドウ糖、ショ糖の割合を調査】 (2019.6.7発信)</p> <p>イチゴには主に3種類の糖が含まれており、品種によって含まれる比率が異なるため美味しさに大きな影響を与えています。そこで品種ごとに糖組成を調査し、基礎情報として整理することで育種技術に活用する予定です。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.7.5

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0348	農業研究部	<p>【R元年度の夏秋ピーマンの栄養・機能性成分評価を開始しました】 (2019. 6. 7発信)</p> <p>豊後大野市と臼杵市で生産された夏秋ピーマンの栄養・機能性成分を評価するために、サンプリング・分析を開始しました。毎月調査を実施するとともに、販売促進につながるデータの活用方法を検討していきます。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.7.5
0343	農業研究部	<p>【スマート農業で使用する白ネギの大苗を準備しています！】 (2019. 5. 31発信)</p> <p>豊後大野市の大規模圃場を利用した白ネギの栽培実証試験では、農業研究部で研究している大苗を使用します。これは通常の苗を二次育苗して約1.5倍の太さにするもので、現地で約2ヶ月管理します。</p>		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.6.28
0334	農業研究部	<p>【生育診断試験用の白ネギを定植しました】 (2019. 5. 20発信)</p> <p>白ネギ等の大規模露地野菜における迅速な生育診断技術を開発するために、白ねぎを定植しました。撮影画像を解析することで生育不良の早期発見が期待されます。</p>		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2019.6.28
0333	農業研究部	<p>【イチゴの採種が最盛期に】 (2019. 5. 15発信)</p> <p>イチゴの品種育成試験において、今年度の交配もほぼ終わり、採果、種子調整の最盛期に入りました。現在、大分6号（ベリーツ）も含めた70組合せ、9000粒の種子が確保できています。6月上旬に播種予定です。</p>		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2019.6.28
0332	農業研究部	<p>【一番茶を収穫しました！】 (2019. 5. 15発信)</p> <p>今年の農業研究部（三重町）の一番茶の収穫時期は5月2日～13日と例年並みでした。今年は天候にも恵まれ品質の良いお茶が収穫できました。</p>		葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.6.28
0331	農業研究部	<p>【茶の摘採適期を画像判断する試験を始めました！】 (2019. 5. 15発信)</p> <p>茶の摘採適期を、スマートフォンのカメラ機能を使って簡単に判断する研究を行っています。今後は画像解析を行い生育予測に役立てます。</p>		葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2019.6.28

②水田農業グループ (計21件)

0550	水田農業グループ	<p>【麦類原種の雑穂抜きが始まりました】 (2020. 03. 19 発信)</p> <p>採種農家に供給する麦類の原種（種子）の「雑穂抜き」作業が始まりました。均一で純度の高い原種を供給するため、これから収穫までに3～4回程度担当者全員で圃場に入り、ひと畦ずつチェックしながら異形個体の除去を行います。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.4.20
0542	水田農業グループ	<p>【麦の生育調査の様子をご紹介します！】 (2020. 02. 25 発信)</p> <p>2月の快晴のもと、畑の中で何をしている写真でしよう？実は、麦の生育状態を調べるために麦の茎の数を数えています。写真の試験区は4条×1m分(1.2m)数えています、多い時には1列で500本/m以上になり、さらに試験区の数だけ数えます。今回の生育調査での計数はこの時期1回のみですが、試験の内容により1～3月の間に月1～2回程度実施する調査もあり、とても根気のいる作業です。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.3.25
0518	水田農業グループ	<p>【麦生育期間中の堆肥散布による水田の地力回復】 (2020. 1. 17発信)</p> <p>近年、全国的に水田の地力低下が問題となっています。水田農業グループでは地力回復に有効な牛糞堆肥を麦の生育期間中に散布することで、地力回復と麦の収量向上を図るための技術開発を行っています。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2020.2.20

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0489	水田農業グループ	<p>【水稻の食味試験を開始しました！】 (2019.12.4 発信)</p> <p>今年の秋に収穫した様々な品種のお米を「外観・香り・味・粘り・硬さ」の5項目で、実際に食べることによって評価しています。収量に加え、良食味の品種の選定を目指しています。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.12.27
0488	水田農業グループ	<p>【早播き摘芯と外来雑草の防除による大豆の増収技術】 (2019.12.2 発信)</p> <p>当グループで開発した大豆の早播き摘芯栽培と外来雑草の防除技術を導入した生産者の圃場で大豆の収穫作業が進んでいます。単収は200kg/10aを上回ると予想され、今後の技術普及が期待されます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.12.27
0472	水田農業グループ	<p>【大豆原種「フクユタカ」の収穫が始まりました】 (2019.11.11 発信)</p> <p>採種農家に供給する大豆「フクユタカ」の原種（種子）の収穫作業が始まりました。今年は播種後に乾燥状態が続いたため灌水を行うなど、安定した原種の確保に努めました。収穫物は被害粒の発生も少なく、良質な原種の確保が期待できます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.11.29
0471	水田農業グループ	<p>【オール大分麦焼酎の開発について情報発信！】 (2019.11.8発信)</p> <p>11月7日、産業科学技術センターにおいて、本県オリジナル焼酎用大麦「トヨノホシ」と麦焼酎用「大分酵母」の開発に関する研究成果を、水田農業グループと産業科学技術センターが発表しました。農商工連携の下、大分の蔵元、大分の水、大分独自の麦、大分独自の酵母を用いたオール大分麦焼酎の商品化拡大を目指します。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.11.29
0448	水田農業グループ	<p>【実りの秋！水稻原種の収穫が始まりました】 (2019.10.9 発信)</p> <p>曇りかつ無い秋空のもと、採種農家に供給する水稻の原種（種子）の収穫作業が始まりました。まだ収穫は始まったばかりですが、心配された病害虫の発生も少なく、良質な原種が収穫できるのではと期待しています。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.11.18
0431	水田農業グループ	<p>【大豆作の難防除雑草対策試験実施中】 (2019.9.17発信)</p> <p>大豆作で問題となっている外来の難防除雑草であるアサガオ類の防除試験を実施しています。2種類の除草剤を適切な時期に防除することで、高い効果が得られており、新たな防除体系として期待されます。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.10.11
0417	水田農業グループ	<p>【令和2年産から飼料用米新品種「みなちから」登場！】 (2019.9.9発信)</p> <p>8月末に県、宇佐市、農協関係者が飼料用米品種「みなちから」の生育状況を確認に訪れました。現在作付けされている「クサホナミ」よりも収量性が高く、倒伏しにくい「みなちから」を令和2年産から推進していく予定です。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.10.11
0389	水田農業グループ	<p>【大豆摘芯(てきしん)栽培の現地実証を開始】 (2019.7.29発信)</p> <p>7/23～8/6に県内6箇所の大豆圃場で早播き摘芯栽培の現地実証(現地研修会)を行いました。摘芯栽培とは、早播きした大豆の茎先端を専用の摘芯機でカットすることで、倒伏しにくい草姿に仕立て、安定した収量と品質を確保する栽培技術です。</p>		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.8.31
0320	水田農業グループ	<p>【飼料用米栽培マニュアルを作成しました】 (2019.4.11発信)</p> <p>当グループの監修により「2019年度大分県飼料用米栽培マニュアル」を生産者向けに作成・配布しました。毎年、内容を更新しており、飼料用米生産者を対象とした講習会等で活用する予定です。</p>		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2019.9.30

農林水産研究タイムリー情報


2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0305	水田農業グループ	【大豆作難防除雑草防除マニュアル第2弾をホームページで公開】(2019.3.20発信) 「大豆作難防除雑草の侵入・拡散防止と新たな防除技術」と題して水田農業グループのページで公表します。講習会等でも配布する予定です。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2019.9.30
0375	水田農業グループ	【麦原種の調製作業実施中!】(2019.7.5発信) 採種農家に供給する麦の原種(種子)の調製作業が始まりました。適正な水分量まで乾燥した麦を、比重や篩いによる選別にかけ、最後は目で見て生産物に問題がないか確認します。		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.7.31
0362	水田農業グループ	【水稲原種ヒノヒカリの田植え】(2019.6.19発信) 水稲の原種(種子)を生産して採種農家に供給しています。その原種を生産するための種を原原種(げんげんしゅ)と言いますが、厳正な栽培管理を行って、品種の特性をそなえた優良な株のみを選抜するために1本づつ手植えをして育てます。		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.7.31
0353	水田農業グループ	【大豆奨励品種選定試験の播種開始】(2019.6.10発信) 大豆の播種が始まりました。これは地域の気象や土壌条件などに適した品種を選定するための調査です。本年度は4品種を栽培し、播種の早晩や栽培密度が収量や品質に及ぼす影響を調査します。		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.7.31
0340	水田農業グループ	【カットドレーン+集水升の排水効果!】(2019.5.28発信) 日田市大肥において、麦の排水対策のため施工したカットドレーンと集水升(釜場)を組み合わせた排水効果は抜群でした。 右図は1.6㎡の収穫物の比較です。	 試験区 対照区	水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.7.31
0347	水田農業グループ	【高速高精度汎用播種機の作業能率を調査】(2019.6.5発信) 宇佐市松崎地区と日田市大鶴地区の集落営農組織において、高速高精度汎用播種機の実用規模での作業能率を調査しました。機械調整後、約6km/hrの作業速度で1時間あたり0.6haの乾田直播が可能でした。		水田農業グループ 企画指導担当 又は 水田農業チーム	0978-37-1160	2019.7.1
0317	水田農業グループ	【ドローン撮影で小麦の施肥診断が可能か?】(2019.4.10発信) (株)KMTの協力により、醤油用小麦試験圃場をドローンで空撮し、出穂期のNDVI値(植生指数)を測定しました。出穂期のNDVI値から、開花期の追肥のコントロールに利用できるかを検討します。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2019.5.31
0310	水田農業グループ	【カットドレーン施工による水田排水対策の現地試験】(2019.3.27発信) 日田市の現地でカットドレーンの暗渠施工による排水性の改善効果を検証しています。本年は、降水量が多いため、無施工圃場と比較して麦の生育差が顕著で、高い湿害回避効果が期待できます。	 右側が施工圃場	水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2019.6.28
0289	水田農業グループ	【「トヨノホシ」の開発経過をホームページで公開】(2019.2.20発信) 県と大分県酒造協同組合で共同開発した県オリジナル焼酎用大麦の新品種「トヨノホシ」について、開発経緯と「トヨノホシ」を原料とした焼酎を水田農業グループのページで紹介しましたので、是非ご覧ください。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2019.5.31

③果樹グループ

(計27件)

0553	果樹グループ	【ハウスブドウ新梢管理の普及員研修実施】(2020.3.27発信) 加温ハウス栽培に植えたブドウ苗が順調に萌芽し、新梢管理を始めたところです。3月26日に落葉果樹担当の普及指導員に対して誘引、摘心、花穂整形などの基本管理をアドバイスしました。現場指導に役立ててもらえることを期待しています。		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.4.30
------	--------	--	--	-------------------	--------------	-----------

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0552	果樹グループ	<p>【ハウス新高梨の人工授粉作業中です】 (2020. 3. 27発信)</p> <p>露地栽培よりも2週間程度早く加温ハウス栽培の新高梨が満開期を迎えています。3月24日から3日間連続で人工授粉作業を行いました。灌水量を変えながら露地栽培よりもどれだけ早く成熟果実を収穫できるか試験していきます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.4.30
0551	果樹グループ	<p>【ナシ流線型仕立用大苗の接ぎ木が活着しました】 (2020. 3. 27発信)</p> <p>次年度から新規課題で取り組むナシ流線型仕立試験用大苗の接ぎ木約300本分を3月6日に終えました。その後3週間が経過し、確実に活着していることを確認したところです。生育条件を変えて新梢の伸長量を比較する試験を行います。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.4.30
0521	果樹グループ	<p>【日田梨大学セミナーで「流線型仕立」の講演】 (2020. 1. 23発信)</p> <p>日田梨大学セミナー（1月21日開催）で当チームの研究員が、過去9年間取り組んできた「ナシ流線型仕立」について説明しました。参加した日田梨生産者との意見交換も活発に行われ、この技術が生産現場に普及しつつある確かな手応えを実感できました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.2.23
0520	果樹グループ	<p>【ブドウ根域制限栽培試験の苗木を定植】 (2020. 1. 23発信)</p> <p>来年度から新規課題で取り組む予定のブドウ根域制限栽培試験用苗木の定植を1月22日に終えました。根が広がりやすいような培地の組み立てに苦心したところです。順調に生育すれば2年目で果実の収穫が見込めます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.2.23
0516	果樹グループ	<p>【生産現場で発生した貯蔵ナシ病原菌の同定調査に対応】 (2020. 1. 14発信)</p> <p>日田市で栽培され冷蔵貯蔵していたナシに黒い斑点のような病害が見つかり、その病原菌を特定できるか病斑部位を培養し菌の同定に向けた調査に着手しています。生産現場で問題が発生すれば速やかに対応しますので、何かお困りのことがあればお問い合わせください。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.2.14
0515	果樹グループ	<p>【果樹栽培における『一年の計は剪定にあり』を実践】 (2020. 1. 14発信)</p> <p>果樹栽培において『一年の計は剪定にあり』と言われるように、剪定は大切な作業です。当チームでは6種類の落葉果樹を栽培しており、今年も試験研究に適した果実が多く実るようお願いを込めて開花が最も早いウメから剪定作業を随時行っています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.2.14
0507	果樹グループ	<p>【良食味のカンキツ「あすみ」収穫調査中】 (2020. 1. 6発信)</p> <p>糖度が極めて高い特徴をもつ「あすみ」を、「開花期加温栽培」（開花期間の最低温度を10℃程度に保持する栽培法）により栽培しています。現在、収穫、調査中です。糖度が13～14度、クエン酸が1.1%程度になっています。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2020.1.31
0503	果樹グループ	<p>【県南特産越冬完熟デコボン「デコ330」の品質向上試験開始】 (2019. 12. 27発信)</p> <p>「デコ330」は春先まで樹上で完熟させる事により糖度が大きく上がり、食味良好で高単価が狙える商品です。しかし3月の収穫期までの水腐れ症発生が問題となるため、果実を雨に濡らさないよう簡易ハウスで被覆しました。今後、品質・収穫量などを調査します。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2020.1.31
0500	果樹グループ	<p>【水田の果樹園地化に向けた基礎調査研究】 (2019. 12. 20発信)</p> <p>県では水田転換による園芸作物栽培を推進しており、水田の果樹園地化も検討されています。当チームではその基礎研究として、土壌・環境チームと共同で既存の果樹園土壌を調査しています。12月16～19日にかけて、国東市のキウイフルーツ園、竹田市のブドウ園、中津市と日田市のナシ園の土壌調査を行いました。今後、得られたデータを水田の果樹園地化に活かしていきます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.1.20

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0499	果樹グループ	<p>【年末出荷に向けた貯蔵ブドウの品質調査】 (2019. 12. 20発信)</p> <p>年末贈答用に高級ブドウの出荷が可能になれば高収益が見込めます。 当チームでは年末出荷に向けた「シャインマスカット」の貯蔵試験を行っており、収穫適期の9～10月に取り入れた果実を2カ月あまり冷蔵保管し、12月中旬に品質調査を行っています。一見したところ不良果実はほとんどなく、試験成果が期待できそうです。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2020.1.20
0474	果樹グループ	<p>【本年産落葉果樹最後の収穫はキウイフルーツです】 (2019. 11. 14発信)</p> <p>当チームでは6種類の落葉果樹の試験研究を行っています。果実の収穫は5月中旬のウメからはじまってスモモ、モモ、ナシ、ブドウと続き、11月上旬のキウイフルーツで全ての収穫作業が終わりました。これら落葉果樹の生育状況や果実品質の結果を平年値と比較して取りまとめ、農業情報として公表することとしています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.12.15
0473	果樹グループ	<p>【ナシ流線型仕立苗木の植え付け指導をしています】 (2019. 11. 14発信)</p> <p>農業公社やまくしが運営する担い手支援のための梨学校から要請があり、11月13日に当チームの研究員がナシ苗木の植え付け指導に中津市山国町の現地へ赴きました。 新規就農予定者2名がナシ栽培を開始するにあたり流線型仕立苗木を活用することになり、植え付けの際の留意点や今後の育成方法を丁寧にアドバイスしました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.12.15
0452	果樹グループ	<p>【果樹研究員が県なし品評会の審査を担当しました】 (2019. 10. 18発信)</p> <p>10月10日に大分市の複合文化施設にて県なし品評会が開催され、果樹グループの研究員が市場流通関係者とともに審査と果実分析を担当しました。県内なし産地から出品された「新高」計60点の中から特に品質の優れたものが入賞し、ラグビー観戦で来県した外国人観光客などが立ち寄って物珍しそうに大玉のナシを見比べていました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.11.17
0451	果樹グループ	<p>【県オリジナル品種ナシ「豊里」の収穫適期です】 (2019. 10. 18発信)</p> <p>10月中旬から県オリジナル晩生ナシ品種の「豊里」が収穫適期を迎えました。当チームの圃場では、流線型仕立や三本主枝仕立てなど試験的に樹形を変えながら「豊里」を栽培しています。1キログラムを超えるような特大の果実を丁寧に収穫して果実品質や収穫量のデータを収集し、試験成績としてまとめます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.11.17
0441	果樹グループ	<p>【「おおいた早生」の完熟栽培試験を実施中】 (2019. 10. 4発信)</p> <p>今が収穫最盛期の「おおいた早生」を、11月まで樹上においたまま完熟させ、高糖度の果実を生産するための栽培方法の開発に取り組んでいます。現時点の通常収穫期と11月収穫の品質差を調査します。</p>		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2019.3.29
0429	果樹グループ	<p>【農業大学校学生のブドウ調査を指導しています】 (2019. 9. 18発信)</p> <p>県立農業大学校でブドウの研究に取り組む学生3名が、9月12日に果樹グループへ来場し、持ち込んだブドウの果実分析指導を受けました。ブドウ果粒の食感を物理的に数値化する計測方法を、研究員が指導しています。今後はブドウの貯蔵試験も行い、学生の研究論文作成に役立ててもらおうことにしています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.10.18
0428	果樹グループ	<p>【県ぶどう品評会の審査を研究員が担当しました】 (2019. 9. 18発信)</p> <p>9月14日に大分市の商業施設で開催された県ぶどう品評会で、果樹グループの研究員や市場流通関係者が審査と果実分析を担当しました。県内ぶどう産地から集まった選りすぐりの「シャインマスカット」計40点の中から特に品質の優れたものが入賞し、直後の即売会では一般来店者がこぞって買い求めていました。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.10.18

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0416	果樹グループ	<p>【醸造（ワイン）用ブドウの新たな候補を選抜しています】 (2019. 9. 6発信)</p> <p>果樹グループと県内の酒造企業とで共同研究を行っている醸造用ブドウが収穫最盛期を迎え、生食用よりも小粒で色つきのよい2種類の果実品質調査を行っています。今後、栽培特性や醸造適性を明らかにし、この中から大分県オリジナルのワイン用ブドウの登録を目指して検討を重ねていきます。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.10.6
0415	果樹グループ	<p>【果実を食害する昆虫の発生予察を行っています】 (2019. 9. 6発信)</p> <p>果実が実っている間は昆虫による被害が絶えません。果樹グループでは昆虫をおびき寄せる誘蛾灯を圃場内に設置し、定期的に飛来量や種類を調査しています。今の時期は特にカメムシ類の被害が懸念されます。収集したデータは直ちに農業研究部病害虫チームを通じて公表され、関係する方々に注意を促すことになっています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.10.6
0392	果樹グループ	<p>【カボス旬入り宣言に向けた果実品質調査を実施】 (2019. 7. 31発信)</p> <p>品質の良い「大分かぼす」を提供するため、7/22に関係機関が共同で県下各地の品質調査を行いました。肥大は概ね良好で、平年に比べ果汁量も多く、昨年同様8月上旬に旬入り宣言を行えそうです。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2019.8.31
0391	果樹グループ	<p>【極早生ナシの新品種育成試験果実品質調査始まる】 (2019. 7. 30発信)</p> <p>果樹グループでは、高単価が見込める盆前出荷が可能で収量性の高い大分県オリジナル極早生ナシを育成・選抜しています。当初の516個体から現在399個体まで選抜が進み、成熟期を迎えた個体から順に果実を採取し品質調査の結果を経て、さらに絞り込みを図ることにしています。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.8.31
0390	果樹グループ	<p>【加温ハウス栽培のブドウ各品種収穫開始】 (2019. 7. 30発信)</p> <p>7月中旬～8月上旬出荷を目標に栽培試験に取り組んでいる加温ハウス栽培の「ピオーネ」などブドウ各品種が収穫適期となり、果実品質調査を行っています。ハウス栽培でどれだけ収量が増えるか、糖度や酒石酸など果実品質がどれくらいになるか、結果が待たれるところです。</p>		果樹グループ 落葉果樹チーム	0978-37-0149	2019.8.31
0368	果樹グループ	<p>【ブドウ系統適応性試験の4品種（系統）が初結実】 (2019. 7. 1発信)</p> <p>国が育成した新系統（新品種候補）の県内での栽培適応性を確認する試験を行っています。このうち植栽2年目を迎えたブドウ4品種（系統）に初結実させました。この中には県内で普及が期待される赤色系ブドウも含まれます。今後、樹体特性や果実品質調査を重ねて、適応性を見極めていきます。</p>		果樹グループ 企画指導担当	0978-72-0407	2019.7.27
0342	果樹グループ	<p>【大分県で九州沖縄果樹研究会が開催されました】 (2019. 5. 29発信)</p> <p>「果樹産地維持と経営拡大」をテーマに九州各県と国の研究機関の研究会が5/23-24に別府・国東各市で開催されました。23日は各県の研究報告があり、24日現地検討会（大規模カボス園等の意見交換）が行われました。</p>		果樹グループ 企画指導担当		2019.6.28
0341	果樹グループ	<p>【ハウスミカン垣根仕立て実証圃の管理方針を協議】 (2019. 5. 29発信)</p> <p>ハウスミカン「垣根仕立て栽培」の現地実証圃（杵築市）で、夏に向けた栽培管理を5/28に生産者、JA、普及員、研究員で方針を決定しました。6月上旬までに剪定を行い、来年実をつける枝を発生させることにしています。</p>		果樹グループ 企画指導担当	0978-72-0407	2019.6.28
0315	果樹グループ	<p>【越冬完熟不知火「デコ330(サツマル)」の収穫調査を行いました】 (2019. 4. 8発信)</p> <p>樹に成らせたまま越冬し、完熟後に出荷する不知火（商品名「デコ330」）を4/11に収穫し、樹ごとの収量や階級割合、果実品質を調査しました。気象条件に恵まれ平均糖度17度と高品質です。今後、春芽や花の調査を行います。</p>		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2019.5.17

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
④花きグループ (計15件)						
0539	花きグループ	<p>【シンクロトロン放射光の照射試験を行いました】 (2020. 2. 17発信)</p> <p>佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターにおいて、輪ギク、ヤマジノギク、わい性トルコギキョウの挿し穂や種子にシンクロトロン放射光を照射しました。今後花きグループにて突然変異の発現を確認します。(※シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する光(電磁波)のことです。物質の分析、反応、解析の手段として、超微細加工、材料科学、地球科学、生命科学等の幅広い分野の研究に利用されており、将来的には医療への応用も期待されています。)</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2020.3.31
0482	花きグループ	<p>【トルコギキョウ栽培研修会 開催日決定】 (2019. 11. 19発信)</p> <p>トルコギキョウの生産者向け栽培研修会(栽培品種検討会)を11月29日13:30から花きグループ試験圃場内の品種展示温室で開催します。新品種導入の際、実際に品種特性を確認して栽培品種を決められるため、県内のトルコギキョウ生産者の大半が来場されます。</p>	 昨年の研修会の様子  開花を迎えた展示圃	花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.11.30
0458	花きグループ	<p>【農林水産祭で開催される高校生による花いけパフォーマンスに協力しています】 (2019. 10. 23発信)</p> <p>令和元年度大分県農林水産祭(場所: 別府公園)で開催される高校生による花いけパフォーマンスについて、10月21日に当グループで事前の演習が行われました。花商組合の技能士が講師となり、当グループの花材も使いながら参加予定の生徒が熱心に勉強していました。本番は10月26日(土) 10:00からメインステージで開催されます。当グループからも花材の提供を行います。</p>	 	花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2019.11.30
0457	花きグループ	<p>【トルコギキョウ品種検討会へ向け、生育順調】 (2019. 10. 23発信)</p> <p>トルコギキョウは品種選定が重要であることから、県内生産者を対象に毎年品種検討会を開催しています。生育は順調で、今年は11月下旬頃に開催予定です。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.11.30
0456	花きグループ	<p>【ヤマジノギクの開花が始まりました】 (2019. 10. 23発信)</p> <p>当グループでは、現在現地で生産を行っている系統より優れた系統を現地に供給するため、ヤマジノギクの育種に取り組んでいます。10月から11月末まで開花調査を行い、優れた系統を選抜します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.11.30
0422	花きグループ	<p>【ヤマジノギクの電照栽培試験の定植を行いました】 (2019. 9. 13発信)</p> <p>当グループが開発したヤマジノギクはほとんどが露地栽培され、10月~12月に出荷されています。1月以降も電照栽培を行って出荷していますが、さらなる品質・出荷量の向上を目指して試験を行います。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.10.31
0421	花きグループ	<p>【スイートピーの育種が始まります】 (2019. 9. 13発信)</p> <p>本県が全国2位の産地であるスイートピーについて、さらなる品質向上を目指した試験を行っています。現在定植期を迎えており、花色や花形が優れ、花落ちが少なく安定した収量が確保できるものを選抜していきます。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.10.31
0420	花きグループ	<p>【小ギクの開花が最盛期を迎えています】 (2019. 9. 13発信)</p> <p>小ギクの需要期の一つである、9月彼岸の出荷に向け、適期に出荷するための技術開発や、実需に合った品種選定に取り組んでいます。現在、電照栽培の小ギクが開花の最盛期を迎え、開花調査を行っています。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.10.31

農林水産研究タイムリー情報



2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0419	花きグループ	【スイートピーの局所冷房の試験が始まります】 (2019.9.13発信) 定植期の高温の影響により、スイートピーの収量が不安定になっています。収量・品質の向上を目指し、花きグループでは局所冷房の試験を行います。高温の影響を受けやすい生育初期に、スイートピーの生長点にスポットクーラーで冷風を送ります。		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.10.31
0400	花きグループ	【ホオズキの播種研修会を実施しました】 (2019.8.21発信) 8月19日に花きグループ圃場において、次年度のホオズキ生産に向けた播種研修会を開催しました。この研修会は栽培経験の浅い生産者を対象に、高品質な苗の生産技術を習得してもらうことで、県産ホオズキの高品質化および生産拡大に寄与しています。		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.9.30
0388	花きグループ	【極少量培地栽培で秋冬季品目の定植を行っています】 (2019.7.26発信) 極少量培地栽培は当グループで開発した栽培方法で、秋出荷の主力品目である「ケイトウ」および冬出荷の主力品目である「ハボタン」の定植を行っています。「ケイトウ」は、9月下旬頃から、「ハボタン」は12月に開花調査を行います。		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.8.31
0387	花きグループ	【コギクの開花調査を行っています】 (2019.7.26発信) コギクの需要期の一つである、8月盆に向け、電照栽培等盆前に正確に出荷できる技術開発に取り組んでいます。現在、開花調査の最盛期を迎えています。		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.8.15
0386	花きグループ	【ヤマジノギクの育種が始まります】 (2019.7.26発信) 本県オリジナル品目であるヤマジノギクについて、さらなる品質向上を目的とした育種を行っています。現在、定植期を迎えており、10月から開花調査を行います。		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.8.31
0339	花きグループ	【極少量培地栽培で夏季品目開花中】 (2019.5.27発信) 極少量培地栽培は当グループで開発した栽培方法で、5～6月出荷のラークスパーに始まり、ヒマワリ、アスター、紅花、コギクが順次開花します。省力・低コストで栽培可能であり、様々な場所・時期に活用が可能です。		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.7.31
0338	花きグループ	【鉢もの用トルコギキョウ「チェリービー」のF1品種続々誕生】(2019.5.27発信) 当グループでは、ギフト用に利用可能な大鉢生産に向く、株張りのよいF1品種の育成を行っています。昨年のブルーに引き続き、ピンク系色の品種も誕生しています。	 左:従来品種 右:F1品種	花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2019.6.28

⑤畜産研究部

(計21件)

0546	畜産研究部	【研究部内で野焼きを開始しました】 (2020.3.16発信) 3月12日から研究部内野草地などで「野焼き」を行っています。野焼きは、枯れ草に火を入れることで害虫駆除、若芽の成長促進及び環境保全を図るものです。今年は天候不順で開始が遅れましたが、今後の天候を考慮しながら3月下旬まで実施する予定です。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.4.15
0540	畜産研究部	【「大分県肉用牛改良研修会」が開催されました】(2020.2.18発信) 2月7日、別府市で県肉用牛改良組合連合会の研修会が開催され、肉用牛生産者等関係者約120名が参加しました。当部からは「生産者の所得向上を目指した雌雄産み分け技術の確立について」の演題で、研究状況等についての講演を行いました。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2020.3.20

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0501	畜産研究部	<p>【籾米サイレージ給与豚の食味会を行いました】 (2019. 12. 24発信)</p> <p>12月23日、養豚関係者20名に籾米サイレージを給与した肉豚の肥育成績の調査結果を報告するとともに、食味会を行いました。籾米サイレージ給与豚肉の評価は高く、おいしさの違いを実感してもらいました。</p>		畜産研究部 豚・鶏チーム	0974- 22-0673	2020.1.30
0498	畜産研究部	<p>【農業高校で、豚凍結精液融解法の実習を行いました】 (2019. 12. 19発信)</p> <p>昨年に引き続き県外の農業高校から豚凍結精液の購入依頼があり、12月6日同校で担当教諭及び3年生で養豚を専攻している12名の学生に対し、豚凍結精液の特徴や使用方法の説明と融解方法の実演・実習を行いました。</p>		畜産研究部 豚・鶏チーム	0974- 22-0673	2020.1.20
0495	畜産研究部	<p>【鳥インフルエンザ及びCSF（豚コレラ）の職員研修会を行いました】 (2019. 12. 13発信)</p> <p>種豚、種鶏を飼養している豚・鶏チームでは、家畜伝染病発生予防のために常日頃から厳重な防疫対策を実施していますが、先般、チーム全員で万が一発生した場合の初動対応を確認し、職員の危機管理意識を更に高めました。</p>		畜産研究部 豚・鶏チーム	0974- 76-1214	2020.1.10
0493	畜産研究部	<p>【家畜人工授精講習会（牛）が終了しました】 (2019. 12. 12発信)</p> <p>研究部内で11月5日から開催された上記講習会は12月3日に終了し、同日閉講式が行われました。引き続き修業試験が実施され受講者14名が全員合格しました。今後は各地域での家畜人工授精師としての活躍が期待されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974- 76-1214	2020.1.10
0481	畜産研究部	<p>【種鶏卵の分散保管を開始しました】 (2019. 11. 19発信)</p> <p>家畜伝染病の鳥インフルエンザが発生すると、発生農場の飼養家さんは全て殺処分の対象となります。研究部では万一の発生に備え、毎年冬季節、豚・鶏チーム（豊後大野市）の種鶏卵の一部（480個）を本場（竹田市）で分散保管しています。今年度は11月14日から保管を開始し、来年春まで続ける予定です。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974- 76-1214	2019.12.20
0468	畜産研究部	<p>【家畜人工授精講習会を開始しました】 (2019. 11. 6発信)</p> <p>11月5日、当研究部において家畜人工授精講習会（牛）の開講式が行われました。今年度の講習会は12月3日まで行われ、学生や団体職員等14名が家畜人工授精師の資格取得を目指して受講しています。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974- 76-1214	2019.12.5
0465	畜産研究部	<p>【日本暖地畜産学会大分大会が開催されました】 (2019. 11. 5発信)</p> <p>10月26・27日の2日間、大分市ホルトホールで上記学会大分大会が開催されました。内容は研究発表会や『スマート畜産の現状と展望』をテーマとしたシンポジウム等で、県内外の大学や研究機関の関係者等約100人が参加しました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974- 76-1214	2019.11.30
0410	畜産研究部	<p>【郡市畜産共進会に審査員派遣】 (2019. 9. 3発信)</p> <p>8月から9月にかけて、県畜産共進会出品選抜を兼ねて各郡市で畜産共進会が開催されます。畜産研究部では畜産振興と牛の改良推進のため、依頼に応じて審査員を派遣しています。今年度は6郡市の共進会に派遣します。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974- 76-1214	2019.9.30
0406	畜産研究部	<p>【インターンシップ研修を実施しています】 (2019. 8. 23発信)</p> <p>今年度は8月19日から9月13日にかけて延べ23名の大学生のインターンシップ研修を実施しています。参加学生の専攻は獣医系、畜産系等様々ですが、多くの学生が県内就職に関心を持つことを期待しています。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974- 76-1214	2019.9.30

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0401	畜産研究部	<p>【雌雄産み分け新技術の記者説明会を行いました】 (2019. 8. 21発信)</p> <p>8月9日、東京都において広島大学と共同で「雌雄産み分け新技術」の記者説明会を行いました。この技術は哺乳類のX精子とY精子の機能差に着目し、受精後に雌になるX精子と雄になるY精子の分離を可能とした画期的なもので、今後国内の家畜（牛及び豚）生産への活用が期待されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.9.30
0395	畜産研究部	<p>【体内受精卵移植講習会が終了しました】 (2019. 8. 5発信)</p> <p>6月24日から部内で行われた「家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会」（体内受精卵移植講習会）は7月23日に終了しました。その後修業試験が行われ受講生5名は全員合格したので、今後受精卵移植技術の普及に向けての活躍が期待されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.8.31
0393	畜産研究部	<p>【高校生の家畜審査競技会が行われました】 (2019. 8. 1発信)</p> <p>7月26日、当研究部で大分県学校農業クラブ連盟主催による高校生の家畜審査競技会（肉牛の部）大分県大会が行われました。県内4校から13名の高校生が参加し黒毛和種雌牛の体型審査を競い、最優秀賞に1名優秀賞に3名が選ばれました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.8.31
0383	畜産研究部	<p>【種雄牛及び種雄豚の定期種畜検査を受検しました】 (2019. 7. 23発信)</p> <p>家畜改良増殖法に基づく今年度の国の定期種畜検査が実施され、当部が保有する種畜については7月17日に種雄豚28頭、同18日に種雄牛31頭が受検し、全頭合格しました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.8.25
0377	畜産研究部	<p>【中学生の職場体験学習を行いました】 (2019. 7. 17発信)</p> <p>中学生の職場体験学習の依頼があり、7月9～10日の2日間、竹田市都野中及び久住中2年生延べ7名を受け入れました。生徒たちは雨天にもかかわらず、部内施設の見学や牛の餌やり・子牛の哺乳などの作業体験に熱心に取り組んでいました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.8.10
0367	畜産研究部	<p>【体内受精卵移植講習会を開始しました】 (2019. 6. 27発信)</p> <p>6月24日から、県の主催による「家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会」（体内受精卵移植講習会）が当研究部において開催されています。講習会は7月23日まで行われ、牛の受精卵移植の資格取得を目指す5名の家畜人工授精師が受講しています。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.7.25
0363	畜産研究部	<p>【当部の研究員が優秀畜産技術者賞を受賞しました】 (2019. 6. 24発信)</p> <p>当研究部の倉原主幹研究員（現畜産振興課）が、肉用牛の受精卵移植技術や育種改良に係る研究功績が評価され、公益社団法人畜産技術協会主催の平成30年度優秀畜産技術者賞を受賞し、6月18日、東京都で表彰式が行われました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.7.25
0350	畜産研究部	<p>【今年度の種雄牛造成に係る事業が決定しました】 (2019. 6. 10発信)</p> <p>6月6日、当研究部に関係者約70名が出席し大分県肉用牛改良組合連合会総会が開催されました。会議では、県の肉用牛改良方針に基づき、今年度の種雄牛造成計画・県有種雄牛の広報や研修会の開催などの事業計画を決定しました。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.7.10
0319	畜産研究部	<p>【候補種雄牛「隆之森」の現場後代検定が終了しました】 (2019. 4. 11発信)</p> <p>「隆之森」の現場後代検定が4/8終了しました。産子16頭（去勢12頭、雌4頭）の平均枝肉成績は、BMS、Mo8.2（歴代1位）、バラ厚9cm（歴代1位）、ロース芯面積61.6cm²（歴代4位）、推定歩留（74.5%：歴代4位）が良好な成績でした。 ※「隆之森」の血統：隆之國-寿恵福-金幸</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.5.10
0316	畜産研究部	<p>【就農準備研修を開始しました】 (2019. 4. 9発信)</p> <p>4月5日、県農業大学校で就農準備研修開講式が開催されました。同研修畜産コースには1名の研修生が在籍し、3月上旬までの11ヶ月間、研究部と農業大学校で各種研修が実施されます。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2019.5.10

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑥林業研究部 (計18件)						
0548	林業研究部	【ヒノキ優良品種の選抜に取り組んでいます。】 (2020. 3. 11発信) 成長等の各特性が優れたヒノキの優良品種の選抜に取り組んでいます。 24系統のヒノキを対象に地表から一定間隔で幹の円盤を採取し、年輪幅を計測することで各系統の成長特性を調査しています。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2020.4.28
0547	林業研究部	【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています。(第4報)】 (2020. 3. 6発信) スギ大径材の多様な用途開発を目的として、薬剤や着色液などの注入性向上試験を行っています。 着色液を注入した日田地域産業の家具・工芸品のテーブル・イス・木履に4種の塗料を塗装しました。今後退色試験を行います。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2020.4.28
0533	林業研究部	【森林整備講習会に講師を派遣しました。】 (2020. 02. 14発信) 日田市森林組合が主催する森林整備講習会に講師を派遣し「特定母樹とエリートツリーについて(※)」および「ドローンによるシカネット調査について」の講習を行いました(※エリートツリーとは成長等に優れた樹木のことで、そのうち農林水産省の指定を受けたものを特定母樹といい、現場での普及が進められています)。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2020.3.31
0527	林業研究部	【大断面製材品の強度性能を評価しています。】 (2020. 01. 24発信) 非住宅分野の建築物の木造化を促進するため、大断面製材品の強度性能を評価しています。高温乾燥した心持ちスギ平角材(短辺120mm、長辺300mm、材長6000mm)の曲げ強度試験を行いました。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2020.2.28
0526	林業研究部	【クロマツやヒノキ等の種子発芽能力を調べています。】 (2020. 01. 24発信) 苗木生産に必要な播種密度や播種量などの情報を苗木生産者に提供するため、クロマツやヒノキ等の種子の発芽能力を調べています。シャーレあたり100粒の種子とし、発芽しなかった種子は切開して原因を調べます。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2020.2.28
0502	林業研究部	【一般流通製材を用いた大断面柱材の開発研究において燃焼試験を行いました。】 (2019. 12. 25発信) 9cmのスギ正角材9本をビスだけで束ねて27cm角にした合わせ柱が1時間火災にさらされた後の状況を観察するための燃焼試験を行いました。燃焼深さはおよそ45mmでほぼ想定どおりでした。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2019.1.31
0483	林業研究部	【ミニ穂に関する共同研究(第2期)にて規格到達率を調査しました。】 (2019. 11. 28発信) 大分県樹苗生産農業協同組合と共同で昨秋に開始したミニ穂(25cm)のさし木・育苗試験の規格到達率を調査しました。 品種により最大9割が大分県の苗木規格に到達し、ミニ穂の短期育苗の可能性が示されました。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2019.1.10
0446	林業研究部	【寸法安定性の高い高品質乾燥材生産技術の開発に取り組んでいます。】 (2019. 10. 11発信) 住宅・非住宅分野の木造化を推進するため、内部割れのない寸法安定性の高い高品質乾燥技術の開発に取り組んでいます。減圧環境で低温で乾燥できる高周波減圧乾燥試験を熊本県と共同で行い、高品質なスギ平角材生産に向けて材質測定等を行っています。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2019.11.28
0445	林業研究部	【場内ツリーシェルター内の温湿度を調査しています。】 (2019. 10. 11発信) 植栽したスギやヒノキに、シカ被害防止を目的とした防護資材であるツリーシェルターなどを設置して性能を調査しています。植栽木の成長に影響があるか確認するため、防護資材の内外に温湿度計を設置してデータを収集しています。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2019.11.28

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0436	林業研究部	【学会にて「木材乾燥時の「栈木痕（さんぎこん）」発生状況の調査」について発表しました。】（2019. 9. 26 発信） 9/12, 13に宮崎で行われた、日本木材学会九州支部大会において展示発表をしました。「栈木痕」の発生問題についての関心度は高く、取り組みに対して多数の助言をいただきました。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.10.28
0435	林業研究部	【ヒノキの秋さし付けにおける育苗期間短縮に向けた最適条件を調査しています。】（2019. 9. 26発信） ヒノキのさし木（秋さし）によるコンテナ苗生産技術を得るため、大分県樹苗生産農業協同組合と共同で秋さしに最適な条件（さし付け時期、穂長、加温の効果等）を調査しています。今後、各条件における床替え可能時期を検証します。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.10.28
0408	林業研究部	【大断面製材品の強度性能を評価するため乾燥材を測定しています】（2019. 8. 30発信） 公共建築物など非住宅分野で求められる中・大断面製材の乾燥特性や強度性能を寸法毎に明らかにすることにより、公共建築物の更なる木造化が期待されます。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.9.30
0385	林業研究部	【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています（第3報）】（2019. 7. 25発信） スギ大径材から正角材（幅105mm、厚さ105mm）を9本製材した材について、高温乾燥および、引き続き天然乾燥を行っています。乾燥によって正角材がどう変化するのか、材の寸法や曲がり、含水率等を定期的に測定しています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.8.16
0371	林業研究部	【日田市立博物館特別展に協力しました。】（2019. 7. 3発信） 日田市立博物館より依頼を受けて、特別展「はきもの歴史と日田下駄」（7/13～9/23開催）に、林業研究部が所蔵する木履370点（参考品含む）のうち、戦前から昭和49年の19点を展覧します。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.9.23
0351	林業研究部	【『おおいた林業アカデミー』研修生に林業研究の取り組みについての講習を実施しました。】（2019. 6. 11発信） 「おおいた林業アカデミー」の令和元年度研修生に、当研究部が進めている林業研究の取り組み（スギの造林品種、コンテナ苗、ツリーシェルター、早生樹など）についての講習を実施しました。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.6.28
0344	林業研究部	【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています（第2報）】（2019. 5. 31発信） 直径42cm以上の大径材から、正角材を9丁取りする製材を行い、製材後の挽き曲りや寸法等を測定しました。引き続き乾燥後の変化を調査します。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.6.18
0321	林業研究部	【県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究を進めています（第1報）】（2019. 4. 15発信） 大分県のスギ資源の中で大径材の供給量が今後増えることが予想されることに対応し、大径材から母屋角（90mm角）や柱材（105mm角）を生産する製材・乾燥技術の開発等に取り組んでいます。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.5.10
0314	林業研究部	【成果普及マニュアル『大径材の有効利用技術 一心去り構造材』を発行】（2019. 4. 1発信） 大径材の活用方法の一つとしてとして角目の複数取り一心去り構造材について、材質特性、強度性能、意匠性の試験を行い成果普及マニュアルを作成しました。 http://www.pref.oita.jp/soshiki/15088/taikei-shinsari.html		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2019.4.24

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0544	きのこグループ	<p>【シイタケほだ木に対する打木処理と原基調査】 (2020. 3. 2発信)</p> <p>きのこグループでは、シイタケほだ木を打木処理することで、発生量を増加させる方法を検討しています。シイタケの原基とは、ほだ木樹皮の下に形成される「芽」のことで、通常外観からは確認することができません。そこで、ほだ木の外樹皮を除去し、打木処理が原基やシイタケの発生に及ぼす影響について調査を開始しました。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.4.3
0532	きのこグループ	<p>【ビニール被覆モデル現地を設定しています】 (2020. 2. 10発信)</p> <p>きのこグループでは、ビニール被覆や袋掛けなどの冬期栽培技術の普及定着を目指しています。今年度から県内6箇所モデル現地を設定し、地域の普及拠点にする予定です。今年は暖冬ですが、モデル現地の中には発生量が昨年より多い生産者も見られ、波及効果が期待できます。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.3.10
0528	きのこグループ	<p>【乾シイタケ交配株の確認】 (2020. 1. 27発信)</p> <p>きのこグループでは、大分県の気象条件に適合した乾シイタケ新品種の育成に取り組んでいます。胞子から発芽したシイタケ菌糸をシャーレ内で交配させ、顕微鏡でクランプ（交配が成功すると生じる小突起物）を確認します。優良な形質や温度特性を有するシイタケの胞子を交配し、室内選抜を行なっています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.2.27
0517	きのこグループ	<p>【乾シイタケの粉末を用いた紫外線照射試験】 (2020. 1. 20発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シイタケ粉末のビタミンDを増加させる研究を行なっています。今回は袋詰め業者が粉碎したサンプルを用いて、紫外線処理や熱処理を行ない、粉末に含まれるビタミンDの含有量を調査します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.2.20
0494	きのこグループ	<p>【早期ほだ化試験用品種の官能評価を実施中】 (2019. 12. 12発信)</p> <p>きのこグループでは、来年度からほだ木育成期間を短縮し、植菌1年目からシイタケを発生させる研究を行ないます。今年度は試験に使用する市販品種を選定する目的で、栽培試験を実施しており、発生量に加えて官能評価試験による味覚の調査も行い、最終的に4品種程度を選定します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2020.1.10
0486	きのこグループ	<p>【きのこグループ研究発表会を開催します】 (R1. 12. 2発信)</p> <p>令和元年度きのこグループ研究発表会を12月11日(水) 13:00からきのこグループ(豊後大野市三重町)で開催します。シイタケほだ木に対する散水打木処理の効果、乾シイタケの味覚や機能性等に関する研究や情報提供を行ないます。発表題名はきのこグループHPに掲載していますので、関係者の皆様の参加をお待ちしています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.12.13
0467	きのこグループ	<p>【木材水分計を用いたほだ木の含水率調査】 (2019. 11. 5発信)</p> <p>きのこグループでは、ほだ木の水分状態を簡単に把握するため、木材水分計を用いた試験を実施しています。散水や天地返しを行なったほだ木を調査し、測定に時間がかかるこれまでの方法(絶乾法)の値と比較することで、非破壊による含水率調査法の可能性を検討していきます。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.12.5
0466	きのこグループ	<p>【ほだ木打木処理を開始しました】 (2019. 11. 5発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シイタケ原木栽培の単収向上技術の確立に向けた試験を実施しています。昨年度効果のあった打木処理(ほだ木をたたく)について、品種や打木回数の異なる試験区を設定し、効果の検証を行なっています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.12.5

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0460	きのこグループ	<p>【早期ほだ化予備試験の品種選定】 (2019. 10. 29発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シイタケ原木栽培の早期ほだ化に関する予備試験を実施しています。今年の春に成型駒を植菌した伏せ込み中のほだ木を調査していますが、今シーズン初めて2品種のシイタケ発生を確認しました。最終的に4品種を選定し、来春植菌の試験を実施する予定です。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.11.29
0444	きのこグループ	<p>【早期ほだ化予備試験の調査を始めます】 (2019. 10. 7発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シイタケ原木栽培の早期ほだ化に関する予備試験を実施しています。今年の春に成型駒を植菌したほだ木の状況を確認し、今後の調査内容等について協議を行いました。予備試験の結果を参考に品種の選定を行ない、来春植菌の試験に向けて準備を行なっていきます。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.11.7
0432	きのこグループ	<p>【照射装置の紫外線強度を測定しています】 (2019. 9. 24発信)</p> <p>きのこグループでは、ビタミンDを増加させた乾シイタケの商品化に向けた研究を行なっています。紫外線照射方法の違いがビタミンD生成量に大きく影響するため、紫外線の強度に関するデータを収集しています。照射装置の開発や改善によって、効率的にビタミンDを増加させる方法を検討しています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.10.25
0430	きのこグループ	<p>【乾シイタケ伏せ込み管理技術指導】 (2019. 9. 19発信)</p> <p>きのこグループでは、県下6箇所にモデル現地を作り、広域普及員が中心となって研究成果を活用したほだ木管理技術の普及指導に取り組んでいます。今年の夏は降雨が多かったことから、通風管理を中心に改善指導を行っており、全体的にほだ化は順調であることを確認しています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.10.18
0399	きのこグループ	<p>【乾シイタケ交配株の室内選抜試験】 (2019. 8. 19発信)</p> <p>きのこグループでは、大分県の気象条件に適合した乾シイタケ新品種の育成に取り組んでいます。作出した交配株の菌糸伸長温度特性等を調査し、原木栽培試験を実施する系統を選抜しています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.9.19
0396	きのこグループ	<p>【2年目発生量の増加に向けたほだ木管理】 (2019. 8. 6発信)</p> <p>きのこグループでは、単収向上技術の確立を目的とした研究を実施しています。近年、2年目の発生量が減少する傾向が見られることから、夏期のほだ木を調査し、秋以降の発生を増加させる管理方法を検討しています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.9.6
0378	きのこグループ	<p>【きのこ遺伝資源を収集しています！】 (2019. 7. 17発信)</p> <p>きのこグループでは、栽培されていないきのこや今後活用が見込まれるきのこを遺伝資源として収集しています。7月に場内でマンネンタケが発生したので、担当研究員が採取し、分離試験を行いました。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22- 4236	2019.8.16
0370	きのこグループ	<p>【簡易施設を利用した照射試験の実施】 (2019. 7. 2発信)</p> <p>きのこグループでは、乾シイタケに紫外線を照射することで、機能性成分を増加させる方法について試験を実施しています。今年度、袋詰め業者が実際に使用する場面を想定し、スチールロッカーを改造して簡易な照射装置を作製しました。今後光源を変えた試験も行う予定です。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22- 4236	2019.8.2
0360	きのこグループ	<p>【白色系アラゲキクラゲの安定性確認試験の実施】 (2019. 6. 19発信)</p> <p>きのこグループでは、白色系のアラゲキクラゲの栽培試験を実施しています。これまでの試験では、一般的なアラゲキクラゲと比較して発生量が少ない傾向が見られるため、今年度は異なる菌株を用いて発生状況を調査しています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22- 4236	2019.7.31

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0352	きのこグループ	<p>【乾シイタケ判定会議の開催】 (2019. 6. 11発信)</p> <p>きのこグループでは、本県の気象条件に適合する乾シイタケのオリジナル育成を育成を目指した研究を実施しています。6月3日に判定会議を開催し、二次選抜中のシイタケの形状、大きさ、発生時期及び量を確認し、今後種菌メーカーの意見を参考にして、品種の選抜を行います。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.7.12
0337	きのこグループ	<p>【乾シイタケ選別調査の実施】 (2019. 5. 27発信)</p> <p>当グループでは、今シーズンのシイタケ発生が終了したので、秋から春にかけて採取、乾燥した乾シイタケの選別調査を開始しました。試験区毎に大きさ、品柄等の品質を調査し、発生量と合わせて評価を行います。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.6.21
0325	きのこグループ	<p>【シイタケ原木栽培予備試験の実施】 (2019. 4. 18発信)</p> <p>きのこグループでは、玉切り作業時期の異なるクヌギ原木を用いたシイタケ栽培予備試験を開始しました。3月末に木片駒を接種したほだ木の水分状況を、今年度木材水分計を用いて調査する予定です。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.5.31
0318	きのこグループ	<p>【シイタケ原木栽培テキストが本になりました】 (2019. 4. 11発信)</p> <p>シイタケ原木栽培を始める方に研修会を行っています。研修会用のテキスト「これから始める原木乾シイタケ栽培」が出版・販売されました。グループの研究成果も取り入れられ、栽培技術から経営まで幅広い内容です。</p>		林業研究部 企画指導担当	0974- 22-4236	2019.5.13

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑧水産研究部 (計23件)						
0541	水産研究部	<p>【今シーズンの番匠川遡上アユ調査を開始！】 (2020. 2. 19発信)</p> <p>今年度から番匠川のアユ調査は水産研究部が担当します。今年初めての調査を2/19に行い、投網でアユ稚魚を19尾採集し、遡上していることを確認しました。今後は週1回程度調査して、遡上のピークや産卵時期を調べます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.3.19
0530	水産研究部	<p>【水産職員研究発表大会を開催しました！】 (2020. 2. 4発信)</p> <p>研究員の資質向上を目的に、大分県水産関係職員研究発表会を開催し、海洋高校生徒の研究発表も含め、各発表で熱心な質疑が行われました。研究成果は、今後の水産業発展につなげていきます。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.3.6
0519	水産研究部	<p>【豊前海漁協女性部の視察訪問】 (2020. 1. 22発信)</p> <p>中津、宇佐、香々地区の漁協女性部員20名が水産研究部を訪れ、試験研究業務説明を受け、施設見学しました。豊前海とは異なる漁業や養殖に関する試験研究の取組みについて熱心に聞き、参考になる情報を得ることができたと喜ばれました。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2020.2.21
0509	水産研究部	<p>【ブダイ駆除で磯焼け拡大防止！】 (2020. 1. 8発信)</p> <p>海藻を食べる魚による藻場の減少(磯焼け)が大きな問題となっており、漁業者がブダイ等を駆除しています。しかし藻場の回復には至っていないため、試験操業により効果的な駆除法を検討し、藻場の回復に努めていきます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2020.2.7
0497	水産研究部	<p>【猛毒を持つ「ヒョウモンダコ」発見！】 (2019. 12. 17発信)</p> <p>津久見市沿岸でヒョウモンダコが発見されました。小型のタコですがフグと同じ毒を持ち、咬まれると大変危険です。刺激を受けると青と黄のヒョウ柄模様が出るのが特徴です。見つけても絶対触らないようにお願いします。</p>		水産研究部 養殖環境チーム 企画指導担当	0972-32-2155	2020.1.24
0485	水産研究部	<p>【お帰りブリちゃん！】 (2019. 11. 29発信)</p> <p>平成29年度に水産研究部で生まれたブリの子どもたちが現地養殖試験を終え、2年半ぶりに帰ってきました。約20gだった体重は7kg程と立派に成長していました。このブリは完全養殖ブリの親魚として次世代に繋がっていきます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.12.27
0484	水産研究部	<p>【漁業学校生が来庁しました！】 (2019. 11. 29発信)</p> <p>11月28日当部にて漁業学校で受講生している新規就業者が栽培漁業や資源管理等について学びました。将来、大分県の水産業を背負って立つ漁業者になることを期待します！</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.12.22
0459	水産研究部	<p>【安心・安全な魚の「現地研修会」】 (2019. 10. 28発信)</p> <p>大分県水産養殖協議会主催の小学生を対象とした養殖現地研修会で、養殖業者、研究員とも質問攻めにあいました。陸上ヒラメや沖合ブリ養殖場の見学や養殖魚の試食会も行われ、小学生たちは養殖魚について関心を持ってくれました。</p>		水産研究部 養殖環境チーム 企画指導担当	0972-32-2155	2019.11.22

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0449	水産研究部	<p>【調査船豊洋で卵・稚仔魚を採集しました！】 (2019. 10. 16発信)</p> <p>浮魚類の資源解析に必要な基礎データ収集のため、卵や稚仔魚を採集しています。また、水深毎に水温等を測定する海洋観測も併せて行い、調査データを海況速報やシラス予報に活用しています。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.11.18
0447	水産研究部	<p>【漁業者・普及員と魚群の撮影を行いました！】 (2019. 10. 10発信)</p> <p>魚群探知機で反応があった魚群の魚種を確認するために水中カメラで撮影したところ、アジの群れを確認しました。魚探反応の色や形から魚種を判別する技術開発のため、今後も調査データを蓄積していきます。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.11.15
0439	水産研究部	<p>【さいき会（水産研究機関の交流会）】 (2019. 10. 2発信)</p> <p>（民間）日本水産海洋研究センター、（国）増養殖研究所、（県）水産研究部の3者で交流会を開催しました。今年は、調査船視察と各機関からの話題提供を行い、地域に貢献する研究に向けて意見交換を行いました。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2019.11.1
0409	水産研究部	<p>【漁業調査船「豊洋」竣工式が行われました！】 (2019. 9. 2発信)</p> <p>新たに建造された漁業調査船「豊洋」の竣工式が8月30日に西大分で開催され、知事をはじめ漁業関係者等約100名が参加し、内覧会も行われました。魚の分布状況や観測結果等の迅速な配信が期待されます。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2019.9.24
0407	水産研究部	<p>【姫島の中学生在が水産研究部を視察】 (2019. 8. 28発信)</p> <p>水産教室の一環で姫島中学校生徒13名が水産研究部の業務概要を聞き、生け簀で飼育中のブリ等の給餌を体験しました。魚に接して生徒たちは水産業に関心を持ったようです。</p>		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2019.9.24
0376	水産研究部	<p>【中学生との赤潮調査実施】 (2019. 7. 11発信)</p> <p>重宝水産（株）に職場体験に来ていた臼杵北中学校の生徒と一緒に赤潮調査を行いました。実際に採水や海洋観測を職員と一緒に行って、水産研究部の仕事も体験してもらいました。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2019.8.9
0366	水産研究部	<p>【クルマエビかぶせ網をドローンで空撮！】 (2019. 6. 27発信)</p> <p>クルマエビの種苗放流は、外敵から種苗を守る事が重要で、その方法として囲い網敷手法があります。今回、新たな取り組みであるかぶせ網敷手法について、正しく設置出来ているかをドローンを使って空撮して確認しました。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.7.17
0365	水産研究部	<p>【漁業調査船「豊洋」進水式】 (2019. 6. 27発信)</p> <p>昨年12月、下関市において起工、建造を開始した新船「豊洋」は、6月24日、無事に進水を完了しました。今後、試運転や海上検査、習熟航海（調査機器の取扱訓練など）を経て、8月30日 西大分港において竣工式を行います。</p>		水産研究部 漁業調査船 豊洋 企画指導担当	0972-32-2155	2019.7.26
0364	水産研究部	<p>【赤潮研修会を開催！】 (2019. 6. 26発信)</p> <p>臼杵・津久見地区の養殖業関係者を対象に、昨年度の赤潮発生状況や今後の発生予察等についての研修会を開催しました。赤潮シーズン前に、これらの情報について研修することで、赤潮発生時の被害軽減へつなげていければと期待しています。</p>		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2019.7.26
0361	水産研究部	<p>【クラゲ調査を行っています！】 (2019. 6. 21発信)</p> <p>クラゲの分布状況の把握のため、調査船「豊洋」で調査を行っています。結果は「クラゲ情報」としてHPなどで発信しています。また水族館「うみたまご」の学芸員の方に乗船していただき、種の判別など調査に協力していただいています。</p>		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.7.5

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0346	水産研究部	【アオリイカ人工産卵礁試作基の効果調査を開始しました！】 (2019. 6. 4発信) 津久見モイカフェスタでお馴染みのアオリイカを増やすため、水産研究部が新たに試作した産卵礁に産卵するか上浦地先で調査を開始しました！		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.7.1
0336	水産研究部	【かぼすブリについての説明とPRをしました！】 (2019. 5. 27発信) 視察研修に来た別府大学食物栄養学部新入生81名に、かぼすブリの特徴や養殖業などについて説明してPRしました。将来、栄養指導等に携わった時には、かぼすブリや養殖魚を食材に使ってもらうことを期待します。		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2019.6.21
0335	水産研究部	【ブリふ化仔魚に給餌開始！】 (2019. 5. 22発信) 大型水槽に収容したふ化仔魚56万尾に動物プランクトンの給餌を開始しました。初期の給餌技術によって生き残る仔稚魚の数に影響が出るため、今後の生残率向上に向け改良を重ねています。		水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2019.6.6
0326	水産研究部	【完全養殖ブリの採卵に成功！】 (2019. 4. 24発信) 平成28年に人工ふ化して生育したブリから約62万粒の受精卵を得て、ふ化仔魚34万尾を大型水槽に収容しました。天然資源に頼らないこの技術で、持続可能な養殖業の発展に繋がることが期待できます。		水産研究部 栽培資源チーム	0972-32-2155	2019.5.10
0322	水産研究部	【「香りよし」カボスピューレを食べたヒラマサデビュー】 (2019. 4. 15発信) 本年はカボスの果皮ピューレを餌に混ぜて、さらに香りのよい「かぼすヒラマサ」の改良を目指しています。4月中旬より県内のスーパーで販売の予定です。		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2019.5.15

◎北部水産グループ (計27件)










※4/25までの組織名: 浅海・内水面グループ

0545	北部水産グループ	【マガキ人工種苗生産用の母貝を養成中！】 (2020. 3. 2発信) 令和2年度、一個一個がバラバラなシングルシードのマガキ人工種苗生産に取り組みます。現在、種苗生産に用いる母貝の加温飼育を開始し、5月中旬からの早期採卵を計画しています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.3.31
0531	北部水産グループ	【地元高校生のインターンシップ！】 (2020. 2. 7発信) 高田高校の生徒さん2名を受け入れ、魚の解剖やプランクトンの検鏡など、実践しながらの研修に真剣かつ楽しく取り組んでいただきました。水産研究の面白さを体験してもらえたと思います。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.3.31
0529	北部水産グループ	【トラフグの放流効果調査を実施中！】 (2020. 1. 29発信) 種苗に標識を付けて放流した高級魚トラフグの放流効果調査を行っています。今回、冬場に姫島で漁獲されたトラフグを200尾程度サンプリングして標識の有無を確認しています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.3.31
0522	北部水産グループ	【地元中学生の職場訪問！】 (2020. 1. 24発信) 豊後高田市立戴星学園（小中一貫校）から2名の生徒さんが職場訪問にきました。試験研究の面白さや難しさ等について、若手研究員と活発に意見交換しました。水産に興味を持ってくれることを期待しています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.2.29

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0508	北部水産グループ	<p>【ホトトギスマットの分布調査を実施します！】 (2020. 1. 7発信)</p> <p>殻長2cm程度のホトトギスガイは海底で互いに絡み合いマット状になって繁殖します。この泥塊マットが大量に底曳網に入ると、網が破れるなど操業に支障が出るケースもあるため、今回、沖合域のマットの分布状況を調べます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.2.29
0496	北部水産グループ	<p>【放流キジハタの年齢を調べています！】 (2019. 12. 16発信)</p> <p>毎年、姫島地先でキジハタ種苗の標識放流を行っています。採捕された放流魚は解剖し、頭の中から小さな骨を取り出します。この骨には木の年輪に似た輪紋があり、これを数え、年齢査定を行っています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.1.31
0487	北部水産グループ	<p>【ナマコの環境浄化機能を検証中！】 (2019. 12. 5発信)</p> <p>ナマコは海底に堆積している有機物を食べて成長します。そこで、ナマコがどのくらい底質を浄化するのかを確認するため、豊後高田市香々地の漁港内で実証試験を行っています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2020.2.28
0464	北部水産グループ	<p>【ハモの標識放流を実施！】 (2019. 11. 1発信)</p> <p>ハモの冬場の移動生態を明らかにするため、水温と水深を自動計測する小型のロガーを魚体に装着し、宇佐市長洲沖に標識放流しました。今後、放流ハモの再捕報告が待たれます。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2019.12.28
0450	北部水産グループ	<p>【豊前海のアサリ資源調査を実施します！】 (R1. 10. 18発信)</p> <p>依然として低迷が続くアサリ資源について、現存量を把握するため、毎年、春と秋の2回、豊前海干潟10地区において坪刈り調査を行っています。今季調査は10月下旬に計画しています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2019.11.30
0440	北部水産グループ	<p>【マガキ地場採苗の技術開発に取り組んでいます！】 (2019. 10. 2発信)</p> <p>養殖用シングルシード種苗として用いる天然のマガキ稚貝を地場採苗するため、中津市と杵築市の各漁港内に設置（6月）していた採苗器を9月末に回収し、現在、稚貝の付着状況等を調べています。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2019.11.30
0438	北部水産グループ	<p>【アサリの種苗生産が始まりました！】 (2019. 10. 1発信)</p> <p>アサリの産卵シーズンに入り、9月下旬から種苗生産を開始しました。現在、陸上水槽で約6千万個の幼生を飼育中です。殻長2mm以上の稚貝になるまで育て、増養殖試験に用います。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2019.11.30
0437	北部水産グループ	<p>【DNAマーカーを用いたナマコ放流効果調査】 (2019. 10. 1発信)</p> <p>4～6月に豊後高田市香々地の漁港内に放流したナマコの受精卵とふ化幼生について、9月中旬から追跡調査を開始しました。今後、DNA標識による親子鑑定を行って、放流効果を検証します。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2019.11.30
0418	北部水産グループ	<p>【キジハタ種苗の放流効果調査が始まります！】 (2019. 9. 12発信)</p> <p>現在、全長6cm程度のキジハタ種苗1.6千尾を漁業公社で中間育成しています。10月上旬まで飼育後、天然魚と区別するため、二枚ある腹ビシの片方をカットして、姫島地先に標識放流し、放流魚の追跡調査を行います。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978-22-2405	2019.10.31

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0394	北部水産グループ	【マダコの産卵期等を調査しています！】 (2019. 8. 2発信) 漁獲量が減少傾向にあるマダコについて、効果的な資源管理策を検討していくため、現在、定期的にサンプルを入手し、マダコの成熟や成長に関する生態データの収集を行っています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.9.30
0384	北部水産グループ	【アユの生残と関係のある漁場環境や生息状況を調べています！】(2019. 7. 24発信) 大分川漁協に対してアユの漁場診断に必要な情報を提供するために、大分川水系の8カ所で、アユの生残と関係のある漁場環境や生息状況を調べています。先日、由布市（小野屋大橋下流）で調査を行いました。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.8.31
0382	北部水産グループ	【漁船の操業データを収集中！】 (2019. 7. 18発信) より正確な操業実態を把握するため、小型底びき網漁船にGPSロガーを、使用する漁具に深度・水温ロガーを取り付け、操業場所、漁具を曳いた距離や深度、水温についてデータ収集を行っています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.9.30
0369	北部水産グループ	【マガキの天然採苗試験実施中！】 (2019. 7. 1発信) マガキの産卵シーズンに入りました。県下でカキ養殖が行われている中津市、杵築市の2地区で6月下旬から潮間帯を利用した天然採苗試験を行っています。設置した採苗器は9月末までに回収し、稚ガキの付着状況を調査します。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.9.30
0374	北部水産グループ	【ヒジキ収穫後の養殖ロープを再利用するための条件を調べます！】(2019. 7. 4発信) ヒジキ収穫後の養殖ロープを繰り返し利用するために、姫島・中津・上浦地先で養殖ロープの越夏管理可能な条件を調べます。先日、姫島地先で岩場と港内の試験区を設定しました！		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.7.19
0359	北部水産グループ	【タイラギ種苗生産を開始しました！】 (2019. 6. 19発信) 高級二枚貝タイラギの種苗生産が始まりました。タイラギ養殖の実用化に向け、不安定な天然稚貝に頼らない人工種苗の生産技術の確立を目指しています。		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22- 2405	2019.7.31
0330	北部水産グループ	【放流用マコガレイ種苗の中間育成始まる！】 (2019. 5. 17発信) 日出町の中間育成施設へのマコガレイ種苗受入れ（3万尾）に立会いました。現在4cmサイズの稚魚を5cmサイズになるまで飼育し、6～7月、別府湾に広域放流される予定です。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.7.31
0329	北部水産グループ	【早朝から市場調査を実施しています！】 (2019. 5. 14発信) トラフグやヒラメ、マコガレイ等の資源状況や放流効果を把握するため、毎月2回、別府市や豊後高田市の魚市場にて、水揚げされた魚の体長測定や標識の確認などを行っています。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.7.31
0354	北部水産グループ	【ヒジキブロックによる増殖効果を調べています！】 (2019. 6. 12発信) 天然採苗したヒジキブロックによる増殖効果を調べるために、国見・国東地先で移植試験を行います。先日、国見地先で試験区を設定しました！		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978- 22-2405	2019.7.1
0345	北部水産グループ	【豊前海アサリの資源量調査実施中！】 (2019. 6. 3発信) 回復の望まれる豊前海のアサリ資源について、今季の現存量を把握するため、6月の大潮干潮時に中津市～豊後高田市の10地区の干潟において坪刈り調査を行います。		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.6.30

農林水産研究タイムリー情報

2020年6月4日完結

(合計243件)

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0328	北部水産グループ	<p>【守江湾でアサリ増養殖試験を実施しています】 (2019. 5. 8発信)</p> <p>守江湾のアサリ資源を回復させるため、杵築市と連携して、当チームで生産した人工種苗を用いた増殖試験に取り組んでいます。先日、人工種苗約1.5千万個を被覆網に収容しました。</p>		北部水産グループ 資源増殖チーム	0978- 22-2405	2019.6.30
0327	北部水産グループ	<p>【ヒジキ養殖試験実施中！】 (2019. 5. 8発信)</p> <p>当チームが生産し、昨年11月に国東市地先に沖出ししたヒジキ人工種苗ロープの経過観察を行いました。今のところ成長は良好で、6月に収穫を行う予定です。</p>		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978- 22-2405	2019.6.30
0324	浅海・内水面グループ	<p>【ヒジキ養殖試験に同行しました！】 (2019. 4. 17発信)</p> <p>県漁協宇佐支店青年部が取り組んでいるヒジキの支柱式養殖試験の技術指導に行ってきました。今のところ成長は良好で1m近くまで伸びています。</p>		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978- 22-2405	2019.5.31
0323	浅海・内水面グループ	<p>【ナマコ種苗生産を開始しました！】 (2019. 4. 17発信)</p> <p>ナマコの種苗生産シーズンがスタートし、さっそく採卵できました。5月までにナマコ幼生を漁港内に放流し、DNA標識を用いての親子鑑定により放流効果を求めることにしています。</p>		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978- 22-2405	2019.5.31